

令和6年3月28日

資料 2 - 4

令和6年度診療報酬改定等に伴う記録条件 仕様（訪問看護）の変更等について

システム部レセ電システム課
歯科・調剤係

レセプト共通（R E）レコードの変更

イ レセプト共通情報 レセプト共通レコード

【変更前】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
再入院等区分	数字	2	可変	1 初回の訪問看護が行われる前に利用者が死亡又は再入院した場合は、別表 6 再入院等区分コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
再入院等年月日	数字	8	可変	1 初回の訪問看護が行われる前に利用者が死亡又は再入院した場合は、その年月日を西暦で記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

【変更後】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
予備	数字	2	可変	記録を省略する。	
予備	数字	8	可変	記録を省略する。	

別表 6 再入院等区分コードを削除（別表 6 の削除に伴い、別表の項番を繰り上げ）

別表 6 再入院等区分コード

【削除】

コード	内 容
0 1	退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に死亡
0 2	退院日の翌日以降の初回の指定訪問看護が行われる前に再入院

資格確認（S N）レコードの変更

ウ レセプト情報

（ウ）資格確認（S N）レコード

【変更前】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
枝番	英数	2	可変	1 健康保険被保険者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等による資格確認を行った場合は、当該証の「枝番」欄の番号を記録する。 2 「枝番」が2桁に満たない場合は、先頭に“0”を記録し、2桁で記録する。 3 被保険者証等に「枝番」が記載されていない場合は、記録を省略しても差し支えない。 4 保険者が後期高齢者医療である場合又は負担者種別が公費負担医療である場合は、記録を省略する。	

【変更後】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
枝番	英数	2	可変	1 電子資格確認を行った場合は、資格確認時にオンライン資格確認システムから通知した枝番を記録する。 2 健康保険被保険者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等による資格確認を行った場合は、当該証の「枝番」欄の番号を記録する。 3 「枝番」が2桁に満たない場合は、先頭に“0”を記録し、2桁で記録する。 4 被保険者証等に「枝番」が記載されていない場合は、記録を省略しても差し支えない。 5 保険者が後期高齢者医療である場合又は負担者種別が公費負担医療である場合は、記録を省略する。	オンライン請求システムにより、レセプトの請求を行っている訪問看護ステーションであって、審査支払機関から通知された「枝番」を使用できる場合は、1と同様に記録する。

心身の状態（JS）レコードにGAF尺度を追加

エ 訪問看護情報 (ウ) 心身の状態（JS）レコード

【追加】

項 目		モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
G A F 尺 度	判定した値	数字	2	可変	1 精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）又は（Ⅲ）を算定した場合は、別表2-8 GAF尺度により判定した値コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
	判定した年月日	数字	8	可変	1 精神科訪問看護基本療養費（Ⅰ）又は（Ⅲ）を算定した場合は、GAF尺度により判定した年月日を西暦で記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

利用者情報（R J）レコードの変更

エ 訪問看護情報 (オ) 利用者情報（R J）レコード

【変更前】

項 目		モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
死 亡 の 状 況	年月日	数字	8	可変	1 利用者が死亡した場合は、その年月日を西暦で記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
	時刻	数字	4	可変	1 利用者が死亡した場合は、その時刻を記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
	場所 コード	数字	2	可変	1 利用者が死亡した場合は、別表 1 6 場所コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

【変更後】

項 目		モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
死 亡 の 状 況	年月日	数字	8	可変	1 訪問看護ターミナルケア療養費を算定した場合は、その年月日を西暦で記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
	時刻	数字	4	可変	1 訪問看護ターミナルケア療養費を算定した場合は、その時刻を記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
	場所 コード	数字	2	可変	1 訪問看護ターミナルケア療養費を算定した場合は、別表 1 6 場所コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

訪問看護療養費（K A）レコードの変更

オ 訪問看護療養費情報 訪問看護療養費（K A）レコード

【変更前】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
職種等	英数	20	可変	1 職種等の指定がある場合は、別表 2 1 職種等コードを記録する。 2 記録するバイト数は、2 の倍数とする。 3 その他の場合は、記録を省略する。	
同日訪問回数	数字	2	可変	1 別に定める訪問看護療養費マスターの項番 4 4 「実施回数区分」が「1：記録が必要な訪問看護療養費」の訪問看護療養費コードを記録した場合、該当する別表 1 9 訪問看護回数コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

【変更後】

項 目	モード	最大 バイト	項目 形式	記 録 内 容	備 考
職種等	英数	20	可変	1 職種等の指定がある場合は、別表 2 1 職種等コードを記録する。 2 記録するバイト数は、2 の倍数とする。 3 1 の場合であって、同日複数回の指定訪問看護を実施し、同日訪問回数に「0 2」又は「0 3」を記録した場合は、訪問回ごとに、主として訪問看護を実施した者に該当する職種等コードをそれぞれ記録する。 4 その他の場合は、記録を省略する。	
同日訪問回数	数字	2	可変	1 別に定める訪問看護療養費マスターの項番 4 4 「実施回数区分」が「0：記録が不要な訪問看護療養費」以外の訪問看護療養費コードを記録した場合、該当する別表 1 9 訪問看護回数コードを記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

別表 1 4 疾病等コードの変更及び追加

別表 1 4 疾病等コード

【変更前】

コード	内 容	
0 4 1	別表8	4 1 在宅悪性腫瘍等患者指導管理を受けている状態にある者
}		

【変更後】

コード	内 容	
0 4 1	別表8	4 1 在宅麻薬等注射指導管理を受けている状態にある者
0 4 2		4 2 在宅腫瘍化学療法注射指導管理を受けている状態にある者
0 4 3		4 3 在宅強心剤持続投与指導管理を受けている状態にある者

別表 1 6 場所コードに注書き追加

別表 1 6 場所コード

【追加】

コード	内 容
3 1	3 病院
3 2	4 診療所

注 コード「3 1」及び「3 2」は利用者情報レコードの死亡の状況の場所コードとしてのみ使用する。

別表 2 0 職種等コードの追加

別表 2 0 職種等コード

【変更前】

コード	内容
01 51	保健師
02 52	助産師
03 53	看護師（悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師を除く）
04 54	理学療法士
05 55	作業療法士
06 56	言語聴覚士
07 57	准看護師
08 58	悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師
09 59	看護補助者
10 60	精神保健福祉士

【変更後】

コード						内容
1回目	2回目	3回目以降				
01 51	11 61	21 71				保健師
02 52	12 62	22 72				助産師
03 53	13 63	23 73				看護師（悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師を除く）
04 54	14 64	24 74				理学療法士
05 55	15 65	25 75				作業療法士
06 56	16 66	26 76				言語聴覚士
07 57	17 67	27 77				准看護師
08 58	18 68	28 78				悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師又は保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第37条の2第2項第5号に規定する指定研修機関において行われる研修を修了した看護師
09 59	19 69	29 79				看護補助者
10 60	20 70	30 80				精神保健福祉士

・ 同日複数回の指定訪問看護を実施し、訪問回ごとの職種等コードを記録する場合は、それぞれ「1回目」から「3回目以降」の該当する列のコードを使用して記録する。

・ 同日に4回以上の指定訪問看護を実施した場合は、3回目以降の任意の訪問回の職種を「3回目以降」のコードを使用して記録する。

・ 上記以外の場合は、「1回目」の列のコードを使用して記録する。

・ 従たる訪問看護ステーションに勤務する者が指定訪問看護を行った場合は、「51」～「80」のいずれかを記録する。

別表 2 1 特記事項コードの変更

別表 2 1 特記事項コード

【変更前】

コード	
1 0	1 0 G A F

【変更後】

コード	
1 0	1 0 緊急訪問看護の理由

別表２８　ＧＡＦ尺度により判定した値コードを追加

別表２８　ＧＡＦ尺度により判定した値コード

【追加】

コード	内 容
０１	０１　ＧＡＦ尺度１００－９１
０２	０２　ＧＡＦ尺度９０－８１
０３	０３　ＧＡＦ尺度８０－７１
０４	０４　ＧＡＦ尺度７０－６１
０５	０５　ＧＡＦ尺度６０－５１
０６	０６　ＧＡＦ尺度５０－４１
０７	０７　ＧＡＦ尺度４０－３１
０８	０８　ＧＡＦ尺度３０－２１
０９	０９　ＧＡＦ尺度２０－１１
１０	１０　ＧＡＦ尺度１０－１
１１	１１　ＧＡＦ尺度０
２０	２０　家族への訪問看護でありＧＡＦ尺度による判定が行えなかった (当該月に利用者本人への訪問看護を行わなかった)